

北海道高等学校教育研究会

第32回大会要項

期日 平成7年1月11日(水)・12日(木)
主催 北海道高等学校教育研究会
後援 北海道教育委員会
札幌市教育委員会
北海道高等学校校長協会

会長あいさつ

北海道高等学校教育研究会
会長 染谷昌志

例年なく長く続いた猛暑も秋風の訪れとともに過ぎ去りましたが、そろそろ周囲には冬の気配を感じられる季節となりました。本年度は第1学年から新しい教育課程が実施に入り、各地における学校改善への動きと合わせて、高校教育があらたな時代を迎えているという思いを強くしております。

ここに高教研の第32回大会のご案内を差し上げることになりました。充実した意義のある大会を目指して、現在諸準備を進めているところです。本大会の全体集会には、お二人の講師からご講演を頂くことになります。それぞれご専門の分野は違いますが、変化の激しい不透明な未来を先にして、現代という時代をどうとらえ、どんな行動をとっていくべきかについて、お二人から貴重なご提言を頂けるものと存じます。

午前の部の講師は、哲学研究においてすぐれた業績をあげられ、また論壇ジャーナリズムの第一線にあって、現代日本の思想界をリードしている中村雄二郎氏にお願いすることになりました。先生はこれまでの学説をただ継承するのではなく、「疑いつつ自分で再発見すべきだ」という信念で、刊行されている多くの著書においても、幅広い読者に向かって平明な文体で語りかけておられます。

知の組みかえの時代と言われる今日、中村先生が追求され、体系化に努められているテーマの中で、特に注目いたしたいのは、このたびの演題にある共通感覚論です。「この考え方を顧み、発展させていくことによって、われわれが現在とかく抱きがちな、感覚と理性についてのさまざまな固定観念を打ち破って、根本的に考えなおすことができるはずである。また、近代合理主義の理性とはちがった理性のあり方、感情と対立せずにそれと結びつく理性のあり方についても、考える手がかりが得られるだろう。」このような新しい展望をもたれている共通感覚論とはどんな考え方かについて、学校教育の重要課題である自己実現と関連させてお話しになられます。当日のご講演が待たれるところです。

午後の部の講師は、長く国際交流の分野で活躍してきた、札幌国際プラザ専務理事の杉岡昭子氏です。これから国際交流について、「何を、何のために、何処に向かって」考え、進めていくべきかを課題として、地域の生き方や自然と人との関わりなどを広い視点からとらえていくという取り組みは、今や全国の市町村から注目されております。

このたびのご講演の演題にあります「故郷忘じがたく候」は、司馬遼太郎氏の作品で、薩摩焼を通しての韓国と鹿児島のかかわりが取り上げられています。北海道の開拓期に薩摩藩の出身者が多いことを考えると、歴史性や地理的な特性に立った三極交流という形での、国際交流の地域ネットワークの形成が可能になります。町づくりの発展として、また、町づくりに反映してくるものとしての国際交流のあり方について、ご講演を通して魅力ある構想と豊富な実践から、多くのご示唆を頂けるものと存じます。

本大会の第二日目には、例年のように教科部会が、それぞれの会場で開催されます。時代の変化に対応する高校教育の創造を目指して、研究と協議がさらに深まっていくものと確信しております。各部会の講師の方々からも、貴重なご教示を頂けるものと存じます。本大会の開催に際して、関係各位のお力添えに心から感謝し、多数の皆さまのご参加をお願い申し上げます。

第32回 北海道高等学校教育研究大会

○ 研究主題 時代の変化に対応する高等学校教育の創造

第1日目 全体集会 平成7年1月11日(水)

場 所 北海道厚生年金会館(札幌市中央区北1条西12丁目)

日程・講師 9:00~10:00 受付

10:00~10:30 開会式

10:30~12:30 講演 「共通感覚と自己実現」

明治大学法学部教授 中村 雄二郎氏

12:30~13:30 昼食・休息

13:30~15:30 講演 「『故郷忘じがたく候』の旅」

札幌国際プラザ専務理事 杉岡 昭子氏

演題 「共通感覚と自己実現」

明治大学法学部教授

中村 雄二郎 氏

(プロフィール)

1925年東京生まれ。東京大学文学部哲学科卒。

哲学者／明治大学法学部教授、文学博士、日仏哲学会会長。

パスカルやデカルトなどの研究から出発したが、日常の日本語で哲学を企てた『哲学の現在』(岩波新書)以来、〈共通感覚〉〈パトスの知〉〈問題群〉〈トポス〉〈汎リズム論〉などをキー・コンセプトにして、現代文化の諸領域に知的関心を持ち、感覚、身体、制度、言語、場所、共振、生命などの諸問題に考察を展開してきている。

主なる著書に、『パスカルとその時代』(東大出版会)、『共通感覚論』(岩波書店)、『哲学の現在』(岩波新書)『西田幾多郎』(岩波書店)、『共振する世界』(青土社)、『かたちのオディッセイ』(岩波書店)『臨床の知とは何か』(岩波新書)。また近刊に、『悪の哲学ノート』などがある。なお1993年には『中村雄二郎著作集』全10巻が岩波書店から、『中村雄二郎エッセイ集成』全6巻が青土社から刊行された。

演題 「『故郷忘じがたく候』の旅」

札幌国際プラザ専務理事

杉岡 昭子 氏

(プロフィール)

1935年京都市生まれ。北海道教育大学卒。

北海道教育大学卒業後、同大学附属中学校教諭となり、1965年米国ミシガン大学大学院に留学。1966年札幌市役所に勤務。

札幌市役所では、国際交流・国際親善畠を歩み、国際室長、国際部長を経て、現在は総務局長職に就任し、財団法人札幌国際プラザ専務理事・事務局長を兼務。市民ぐるみのコンベンションへの取り組みで、全国諸都市の注目をあびる。